

薩摩青雲丸

鹿児島水産高校
薩摩青雲丸
第一次航海
指導教官

First & Last

専攻科1年生は最初の航海・2年生は最後の航海

合格した三名の専攻科生
右から立石君、田中君、帖地君
5月15日、生徒食堂にて



夢を掴むために 二級海技士科目合格！

先日、「二級海技士」4月定期試験の合格発表があり、乗船中の3名の専攻科生が科目合格（二年生の立石君と帖地君が4科目中2科目、一年生の田中君が1科目合格）しました。一日最大5時間の勉強をこなしたという田中君は「一回の7月定期試験でも必ず合格したい」と意欲をみせます。現在3名以外にも複数の専攻科生が科目合格しており、中には全科目合格を達成した生徒もいます。互いに刺激し合いながら、実習中も夜遅くまで学習室で試験勉強に励む生徒もみられます。

操練

出港翌日には非常事態に備えて、避難訓練および消火訓練が実施されました。また、航海士より救命器具の取り扱いについての説明もおこなわれました。全乗組員が参加

5月14日の出港式の際は盛大なお見送りありがとうございました。実習開始から約二週間が経過しましたので生徒達の様子を報告致します。

船内学習

航海実習中は、訓練記録簿（専攻科は三級海技士）に対応した船長・機長による講義や試験、また、航海士及び機関士

し、実習生も真剣な面持ちで訓練に臨みました。



訓練後の実習生集合写真
5月15日、船首にて

操業実習

右は生徒食堂にて船長講義
5月17日



による各種実技講習等も実施されています。

ニューフェイス

新乗組員の紹介

揚縄作業前デッキにて
5月22日



早乙女竜也（さとおめたつや）▼次席二等航海士兼甲板員▼年齢▼49歳趣味▼ヨガ・読書・旅行一言メッセージ▼百戦錬磨の先輩方と日本の未来を担う学生達と同じ釜の飯を食べながら多くの刺激を受け、とても充実した日々を送っています。座右の銘▼「敬天愛人」

指導教官の目

ろです。昼間の作業では顔を日焼けするぐらいの日差して、雨も降りません。今航海では31日の千秋楽まで合計14回のマグロ延縄操業実習が計画されています。実習生たちはヘルメットを被りカッパ、ビニール手袋、軍手、長靴、ライフジャケットを着用し、日々慣れた格好で乗組員の指導のもとに奮闘中です。一年生にとっては仕事を覚える最初の航海、二年生にとつては一年間の集大成となる最後の航海になります。今週末の千秋楽に向けて先輩から後輩への引継ぎもいよいよ大詰めを迎えます。

実習生にとつては慣れない船内生活ですが、海象の良い日が続いているため、船酔いから比較早く解消され、皆普段どおりの体調になっています。本科生の実習内容と比較すると、作業内容も複雑でハードなものとなつていますが、笑顔で絶やさず一致団結して実習に取り組む様子が印象的です。本航海は専攻科生22名が乗船。様々な場面で2年生が1年生を指導する姿がみられます。指導教官も乗組員と共に安全第一で実習生の指導にあたっています。